



松江城下町の寺院分布

2班 井谷・伊藤・海老谷・岡村・梶原



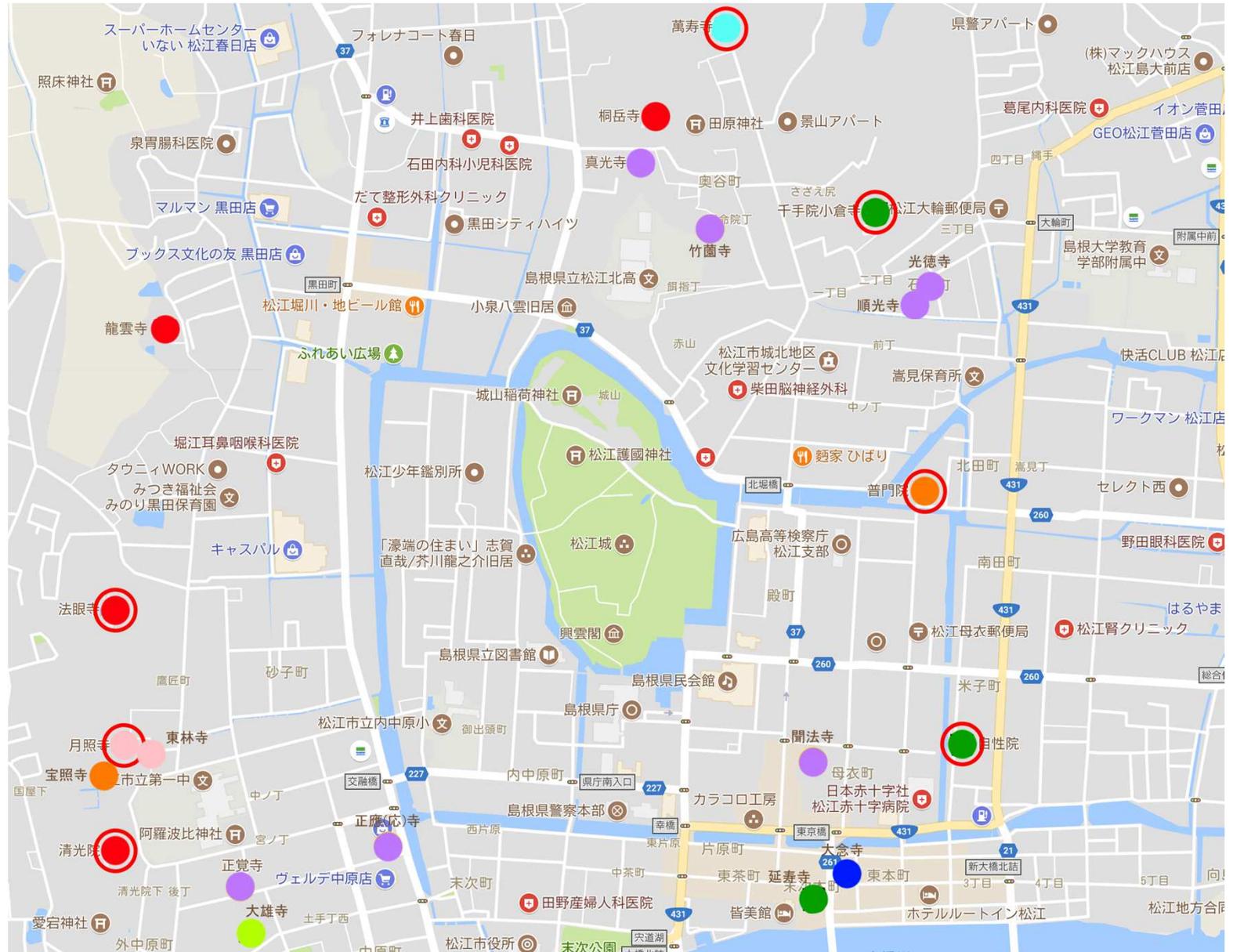
目次

1. 導入
2. 鬼門と祈祷
3. 寺院と松江藩
4. 寺院と地図
5. まとめ

導入

- 宗派で分布
- 臨濟宗
- 曹洞宗
- 真言宗
- 浄土真宗
- 天台宗
- 単立

曹洞宗は多いが
ヒント得られず...

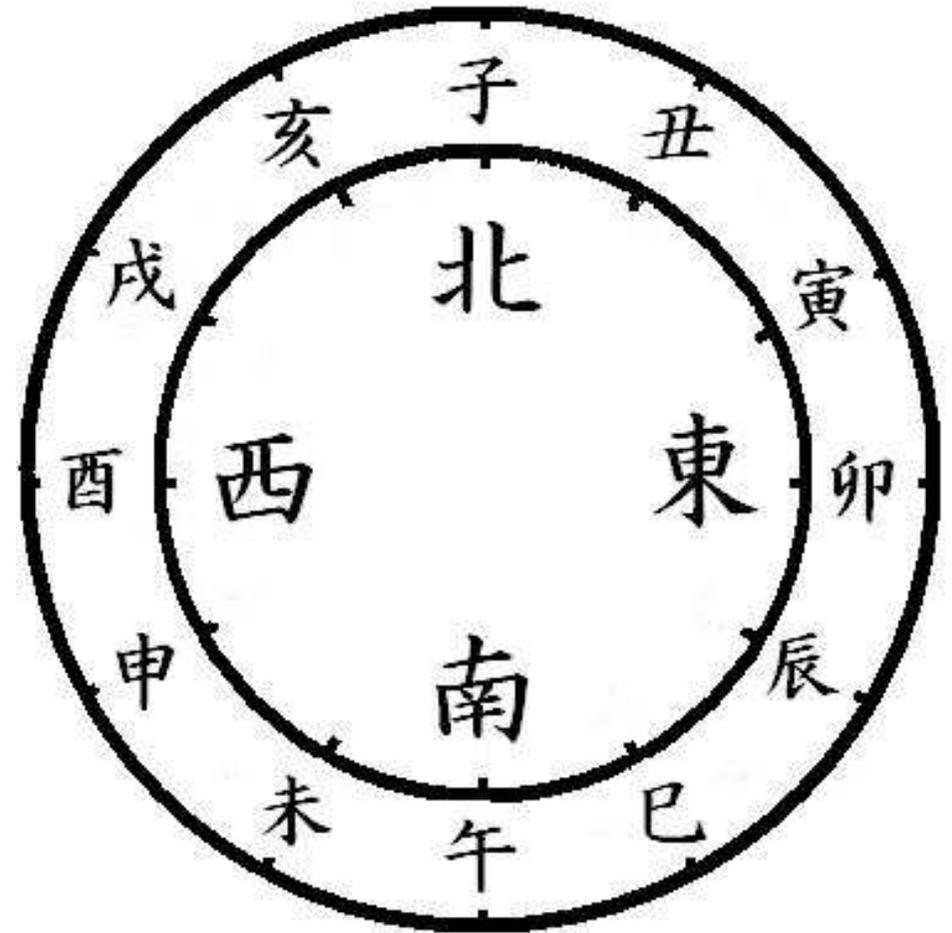


松江城の鬼門封じと寺院



鬼門って何??

- ・艮(うしとら)、すなわち東北の方角。また、その方角にあたる所。陰陽道で、陰悪の気が集まり、百鬼が出入りするという。鬼方(きほう)。



引用

<http://www.artmemory.co.jp/contents/infomation/19.html>

なぜ北東が鬼門??

○中国の地理書『山海経』

→桃園の東北にある鬼が来る門が由来

○丑と寅の間にあたる方角

丑は陰気の極大

寅は陽気の極小 を表す

→陰陽道において陽気の存在しない方角

『山海経』の四方の使者



東方 句芒(こうぼう)



西方 蓐收(じょくしゅう)

左の耳に蛇をかけ二匹の龍に載る



南方 祝融



北方 禺彊(ぐきょう)

二匹の青蛇の耳飾りをし、二匹の青蛇を踏む
晋代の郭璞(かくはく)の注の別テキストには
身体、手、足黒く、二匹の龍に乗るとある

普門院 概要

○宗派・・・天台宗

○本尊・・・大聖不動明王

○開山年・・・慶長年間
(1596年～1615年)

○開山者・・・賢清上人

○現在の所在地・・・北田町



普門院の鬼門祈禱について

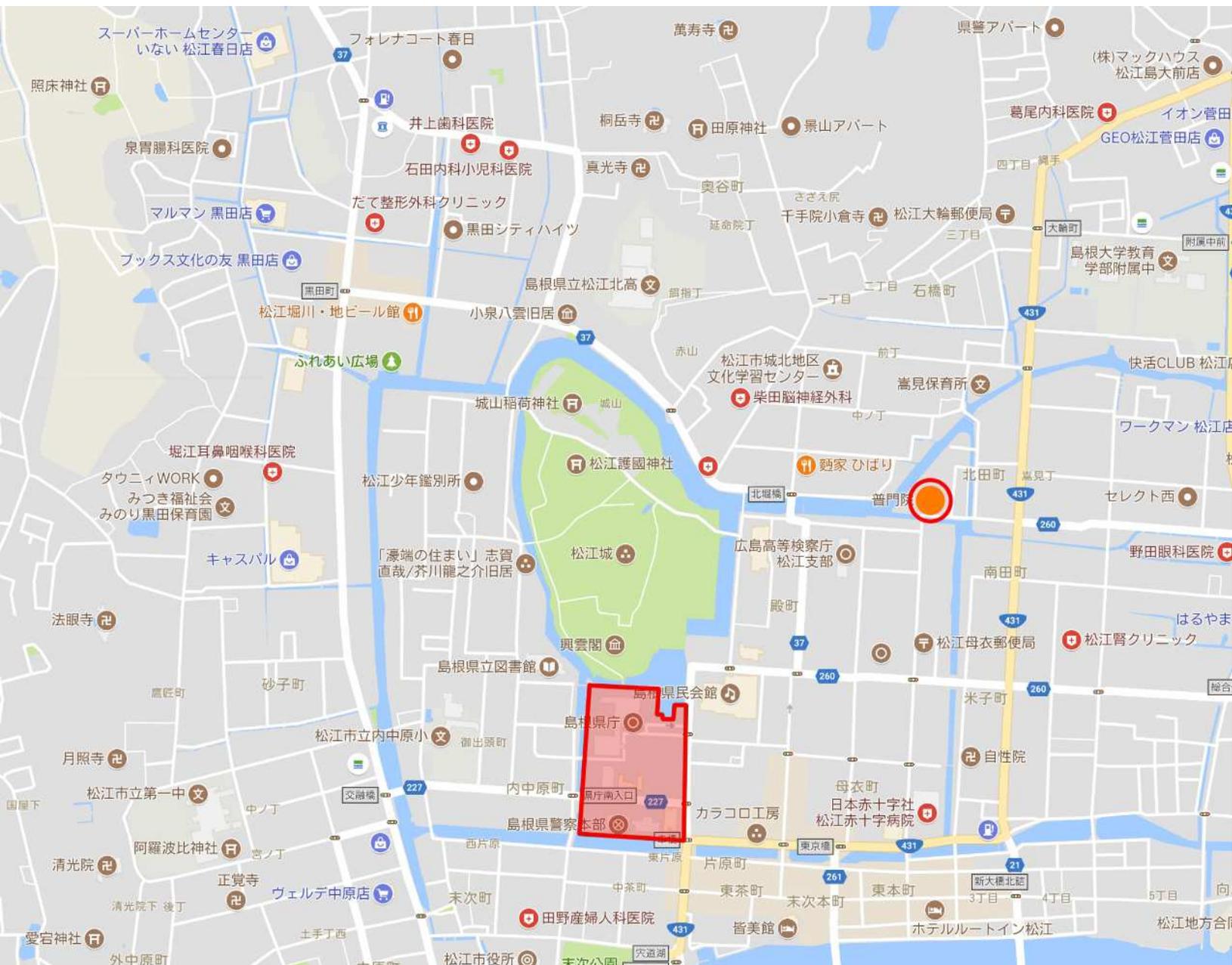
元禄2年(1689年)に現在地に移転後、**松江城三の丸の鬼門封じ**の役割を担う

城に出向き大般若による祈禱も行っていた
『大般若経』600巻の転読



今日に至るまで、**国家安泰、鎮護の道場**とされてきた

松江城三の丸(現県庁付近) との位置関係



千手院 概要

○宗派・・・高野山真言宗

○本尊・・・不動明王

○開山年・・・慶長年間
(1596年～1615年)

○開山者・・・長海律師

○現在の所在地・・・石橋町

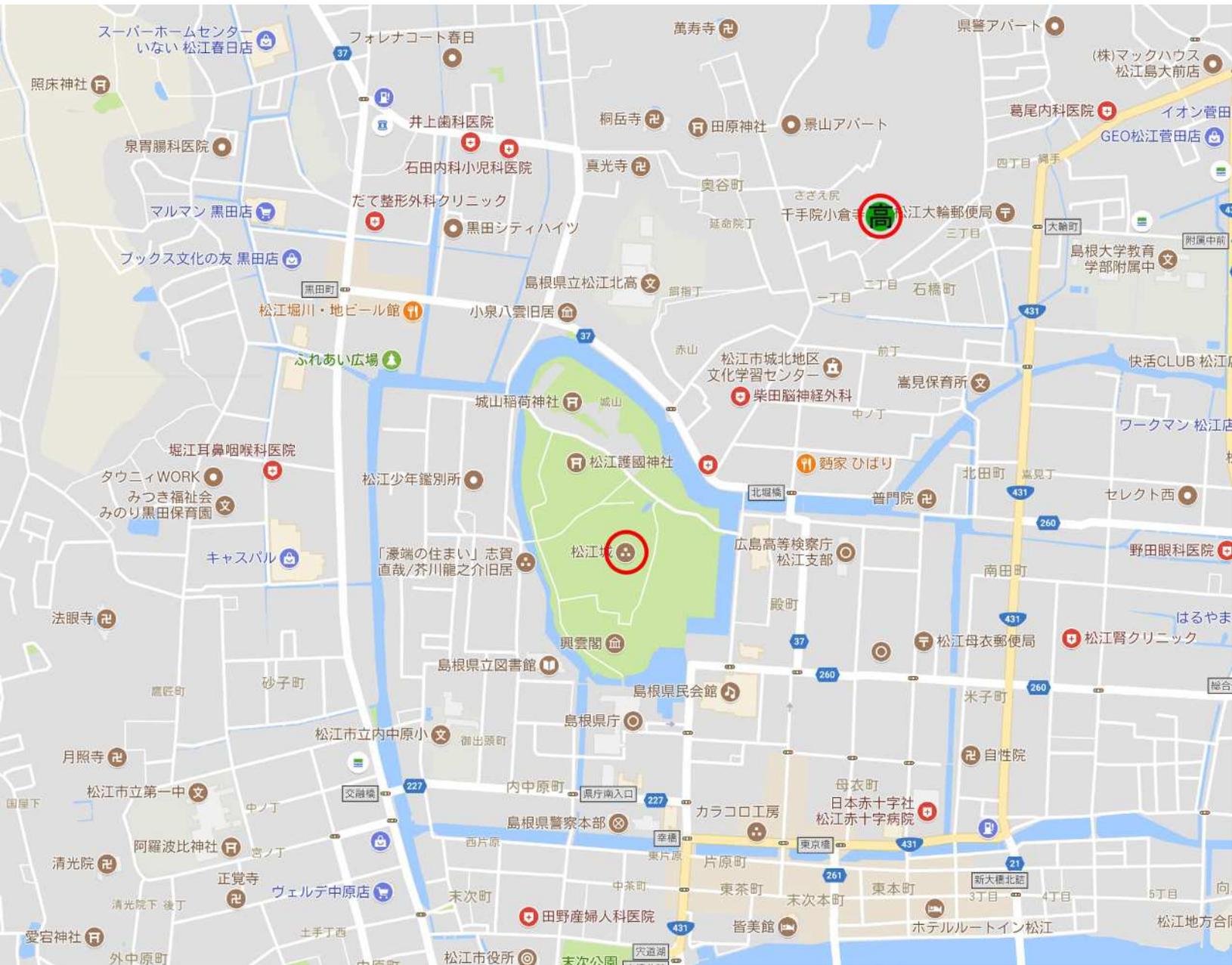


千手院の鬼門祈禱について

松江に築城の際、**松江城天守閣の鬼門を封じるため**
に広瀬より移転

松平家の時代 登城本尊を祭る・大般若会
└ 現在も祭っている

代々の住職によって「鬼門封じ」と松江城守護、城下
安穩の不動息災護摩供養が正月三カ日と毎月二八
日に行われている



松江城 天守閣との位置関係

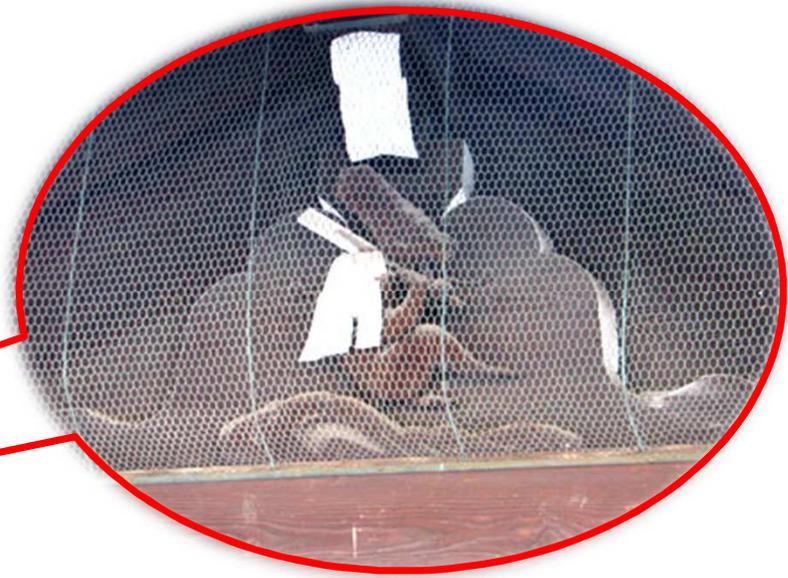


境内に猿の像が...

鬼門と関係が??

京都御所の猿が辻について

- ・ 北東にあたる塀の角が凹んでいる
⇒ 鬼が来ないように角(ツノ)
をとっている



鬼門除けの猿の像

<http://mapmap.kyo2.jp/e9192.html>

猿の像の真相 (千手院職員の方からの聞き取りによる)

1975(昭和50)年頃のこと

信者の一人からの「猿の像を千手院に置かせてほしい」という申し出



少しためらったが、猿が鬼門に強いことを知り、置くことに決定
(猿は何でも引っ掻き回すといわれていたため)

しかし、なぜそのような申し出をしたのか不明...

- ・猿と鬼門のことを知っていた

→ 鬼門の信仰が現在まで残っていると考えた

萬壽寺

宗派：臨濟宗妙心寺派

本尊：釈迦牟尼佛

開基：龍関紹寅禪師

開創年：慶長5(1600)年



- 開山の春龍和尚が堀尾帯刀殿の帰依される所となる
※堀尾帯刀殿:堀尾吉晴、「松江開府の祖」
- 帯刀殿が城をこの松江に移した際に、荒和井(今の松江市外中原町)の瑞応寺(現在の天倫寺にあたる)の山内に長壽院を建立した。
- 四世龍関和尚は、寛永18(1641)年、家老乙部九郎兵衛の斡旋により、松江藩主松平直政公より松江市奥谷の寺屋敷を賜り、現在の位置に移転した際、菖蒲山長壽寺と改号した。
- 十三世後大安和尚に至り、長壽寺が焼失してしまい、再建した。その時に長壽寺を萬壽寺と改称した。

自性院

宗派：高野山真言宗

本尊：延命地蔵大菩薩

開基：学雄上人

出雲国十三仏霊場のひとつ



- もともと**富田城**(現在安来市広瀬町)の城下にあった
- 行基作の十一面観音像、弘法大師作の波切不動明王像がある
- 薬師如来が祭られている
- **城東の守護として開基**
- **松江藩主松平綱近公(松江松平2代目)**
から十一面観音像の寄進を受ける



～十三仏～

- 亡者の死後供養(法事)を行う際に、本尊とする仏・菩薩
- 死者を守護する仏として信仰

～出雲国十三仏霊場～

・高野山真言宗の寺院のみで構成

番号付き札所

- ①高祖寺 ②朝日寺 ③成相寺 ④満願寺 ⑤薬師院
⑥千手院 ⑦自性院 ⑧迎接寺 ⑨東泉寺 ⑩乗光寺
⑪弘徳寺 ⑫報恩寺 ⑬岩屋寺

特番→宗昌寺

法眼寺の概要

- ・宗派: 曹洞宗
- ・山号: 圓輝山
- ・本尊: 南無釈迦牟尼仏
- ・開基: 佐々木良左衛門信綱
- ・開山: 自耕道譽
- ・創立は約600年前とされるが、詳細は不明
- ・堀尾吉晴公の松江城築城以前から松江に存在し、橋北の寺の中で最も古いものとされる



法眼寺と松江藩との関係

- ・当初は亀田山(現松江城山)にあったが、松江城築城とともに末次村大橋北詰に代替地を与えられ移転

→文政3(1820)年火事により焼失

- ・当時の松江藩家老朝日丹波守郷保が土地を寄進し、

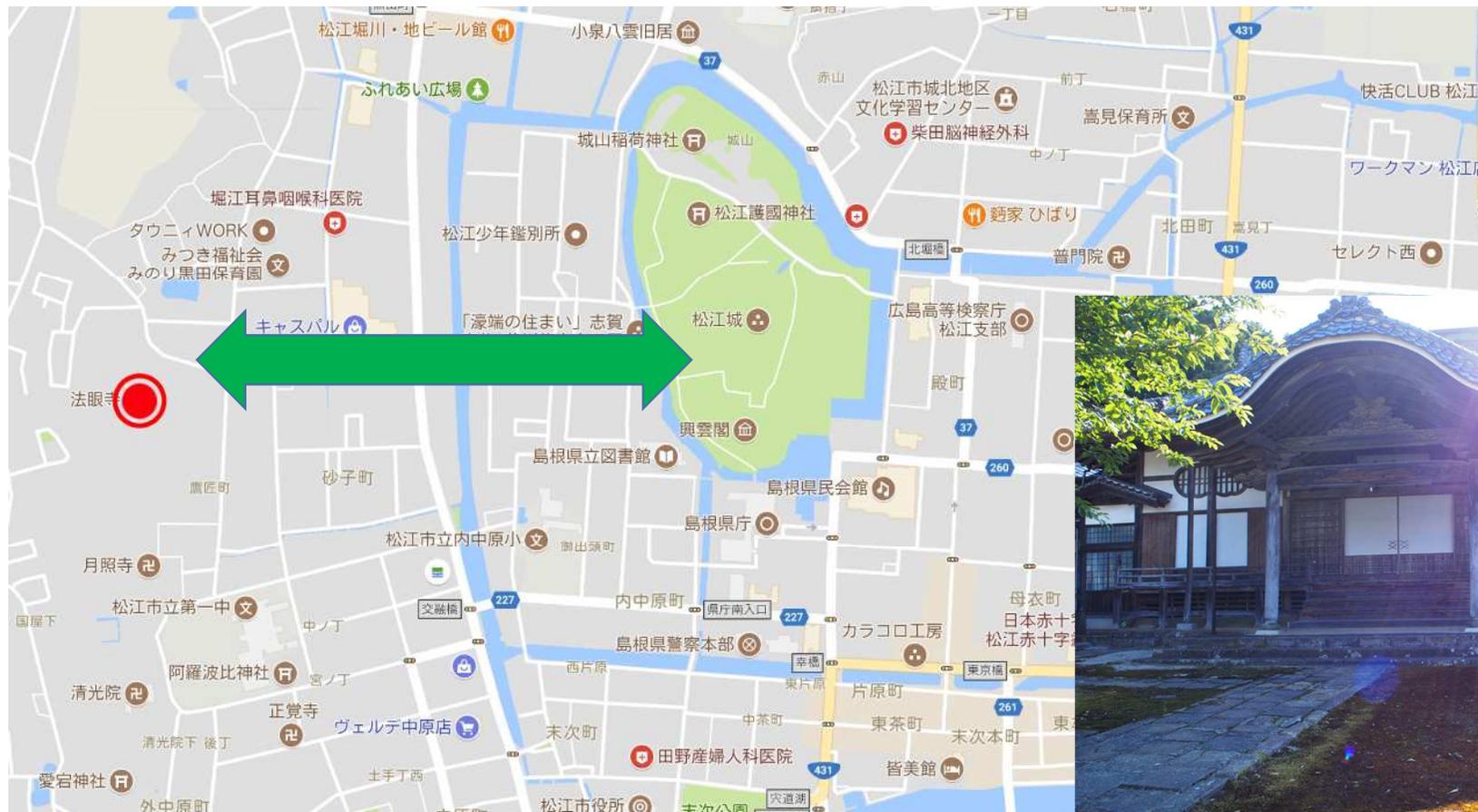
そこに再建され現在もその土地に建っている

→朝日丹波守の「一人建ち」と伝えられ

特に本堂屋根は国主特許の御殿造りになっている

法眼寺伽藍及び朝日丹波墓碑と松江城

- ・法眼寺伽藍と朝日丹波墓碑は、松江城と相對している



月照寺の概要

- ・宗派：浄土宗
- ・山号：歡喜山
- ・本尊：阿弥陀仏
- ・開山：長誉上人
- ・もともとは洞雲寺という禅寺で
五百羅漢像などもあったが
時がたつにつれ荒廃



月照寺と松江藩の関係

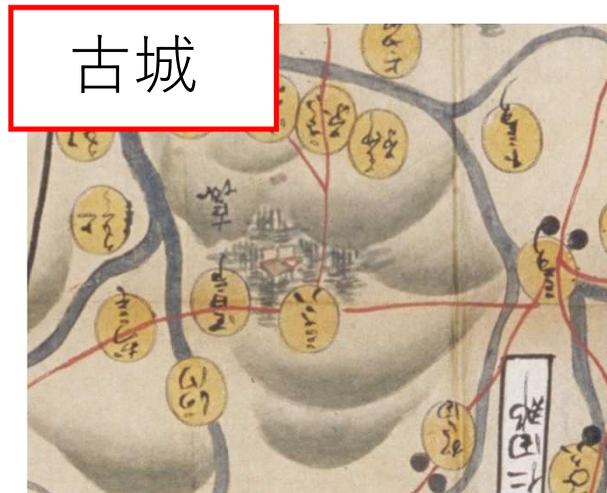
- ・初代松平直政公治下の寛文4(1664)年、直政公の母である
月照院の霊碑を安置するため再興。蒙光山月照寺と名を変えた
→直政公が死去の際の遺言により二代藩主綱隆により、月照寺に葬られ、
山号を現在の歓喜山に改めた
- ・以後直政公より9代藩主までが葬られ、松江藩主松平家の菩提寺となる

移転

地図で見る

移転

- 月山富田城（現在の安来市広瀬町）
- 火事による移転



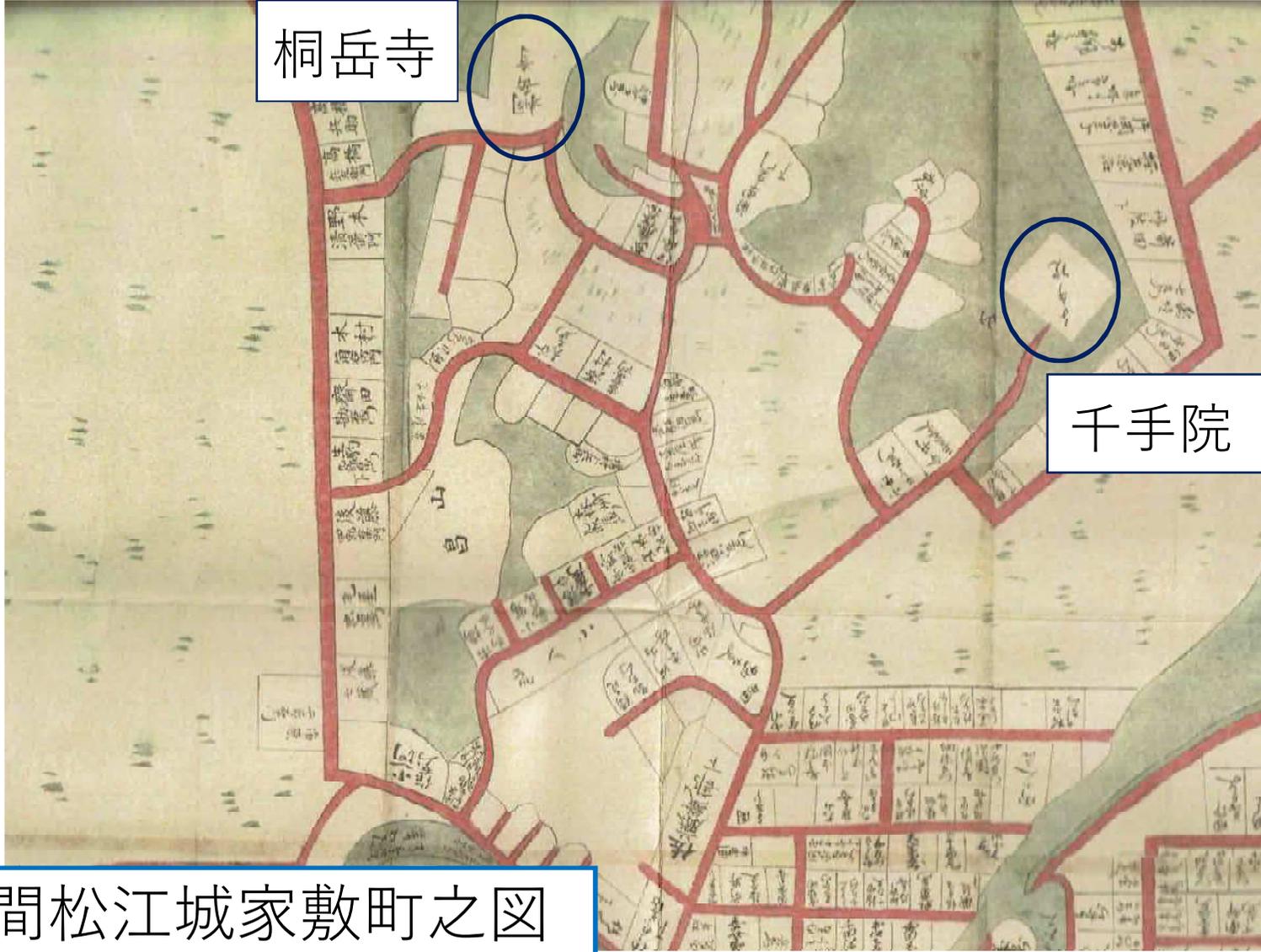
京極時代の松江城下町絵図に見る寺院 1634～1637年（寛永11年～14年）

青…記載されている寺院

- 千手院
- 桐岳寺
- 忠光寺（月照寺）
- 清光院
- 大雄院（大雄寺）

黒…別所に記載されている寺院

- 橋南に普門院

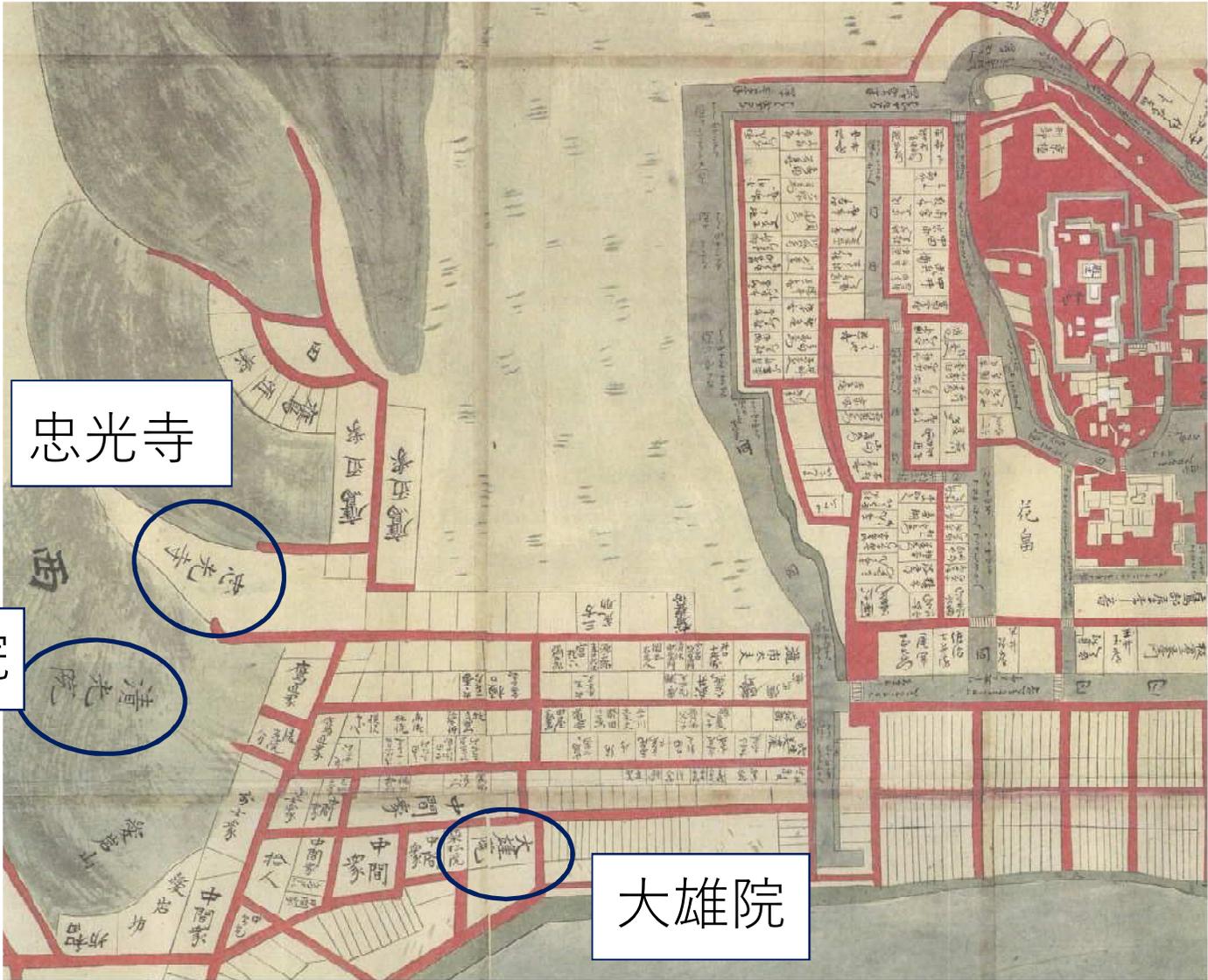


桐岳寺



千手院

寛永年間松江城家敷町之図



忠光寺

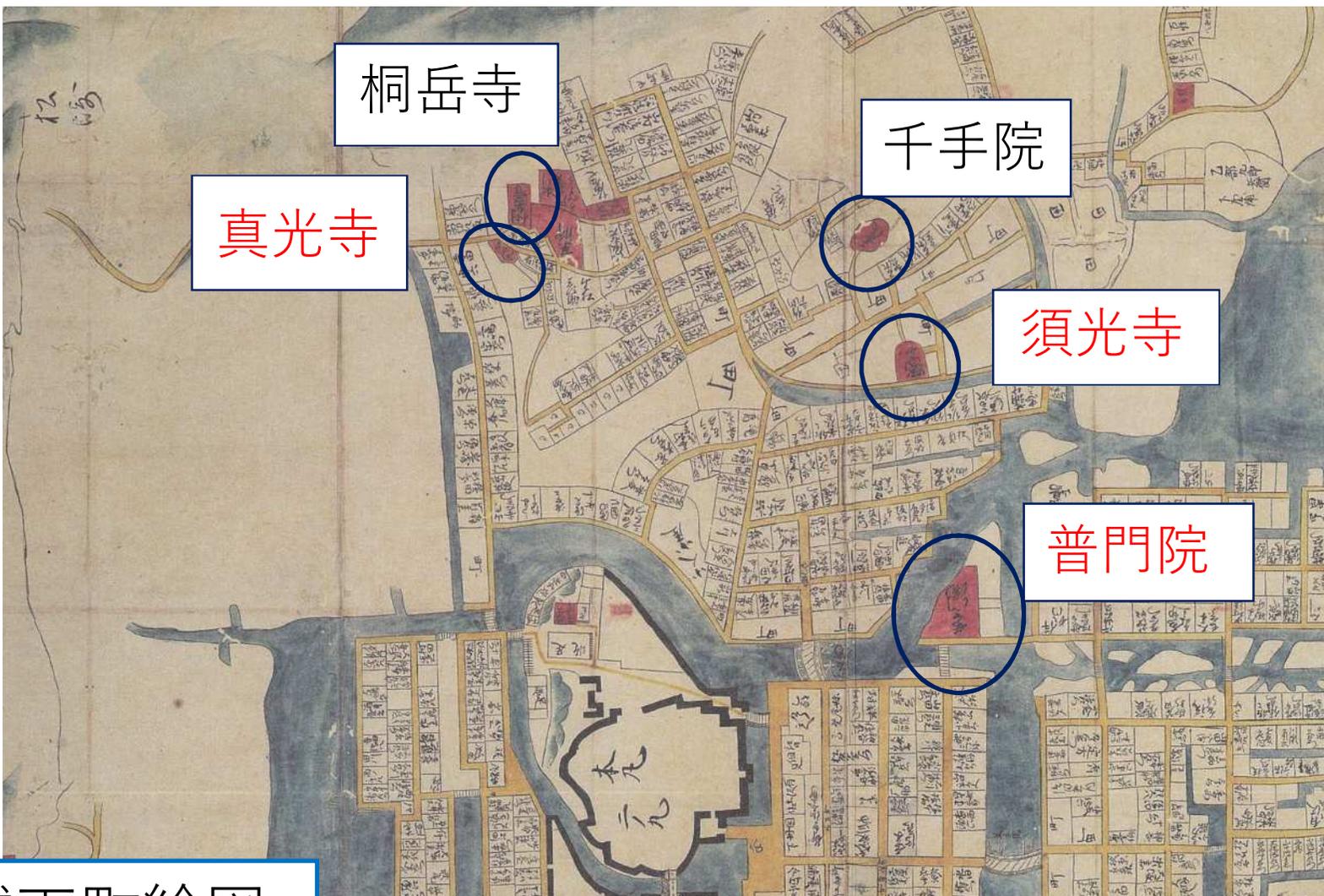
清光院

大雄院



松平時代中期の松江城下町絵図に見る寺院 1705～1713年（宝永2年～正徳3年）

- 千手院
- 桐岳寺
- 真光寺
- 普門院
- 自性院
- 法眼寺
- 比叡山月照寺
- 清光院
- 大雄寺
- 正徳寺
- 須光寺



松江城下町絵図

1820年に今の場所とあったが、1705年にすでにここにある。=寺院の由緒はあてにならないところもある。



法眼寺

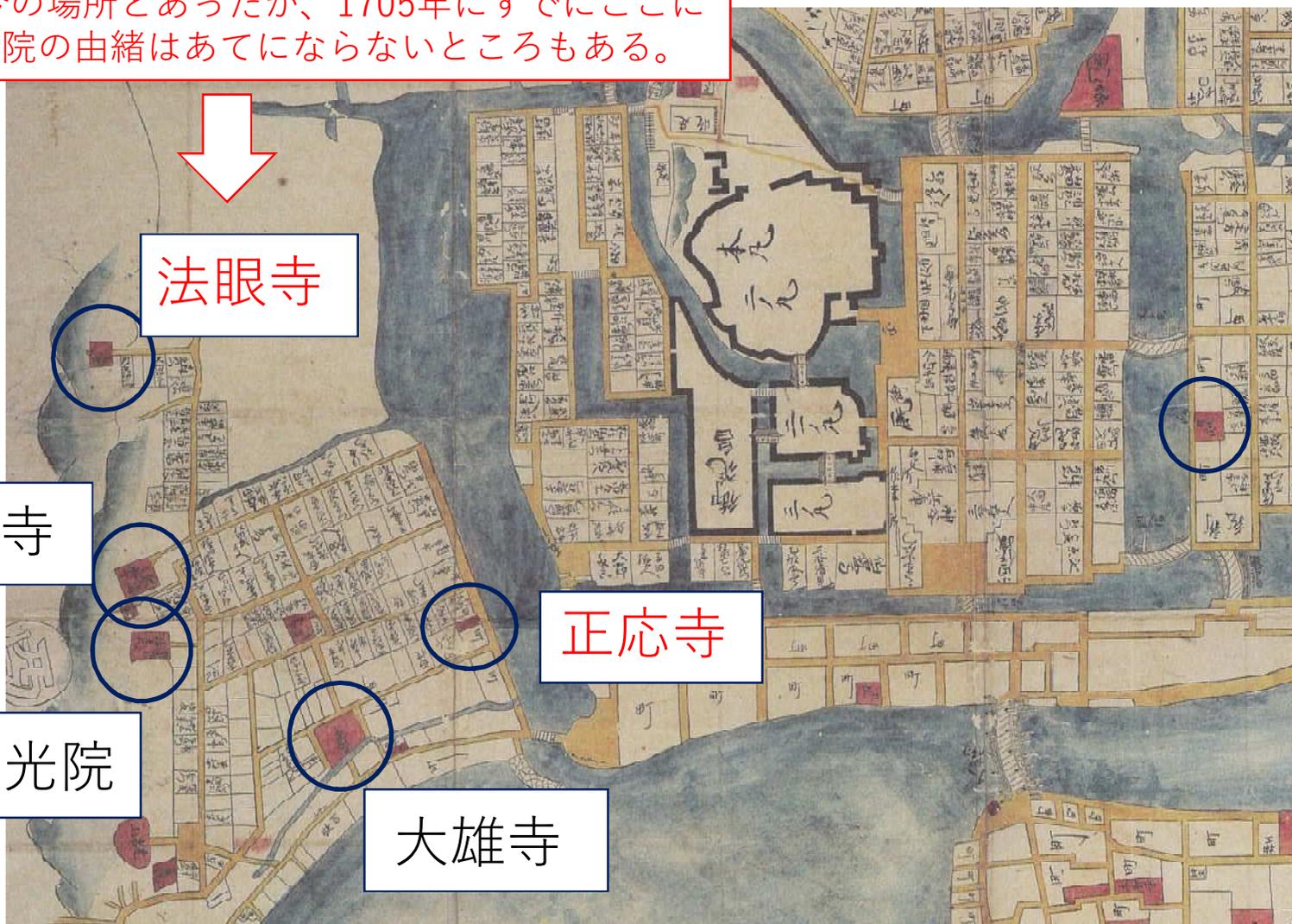
月照寺

清光院

大雄寺

正応寺

自性院



松平時代後期の松江城下町絵図に見る寺院 1830～1844年（天保年間）

- 千手院
- 長寿寺
- 桐岳寺
- 普門院
- 自性院
- 満性院
- 法眼寺
- 月照寺
- 清光院
- 正覚寺
- 大雄寺
- 正應寺



長寿寺

桐岳寺

千手院

普門院

松江城下町絵図

法眼寺

月照寺

清光院

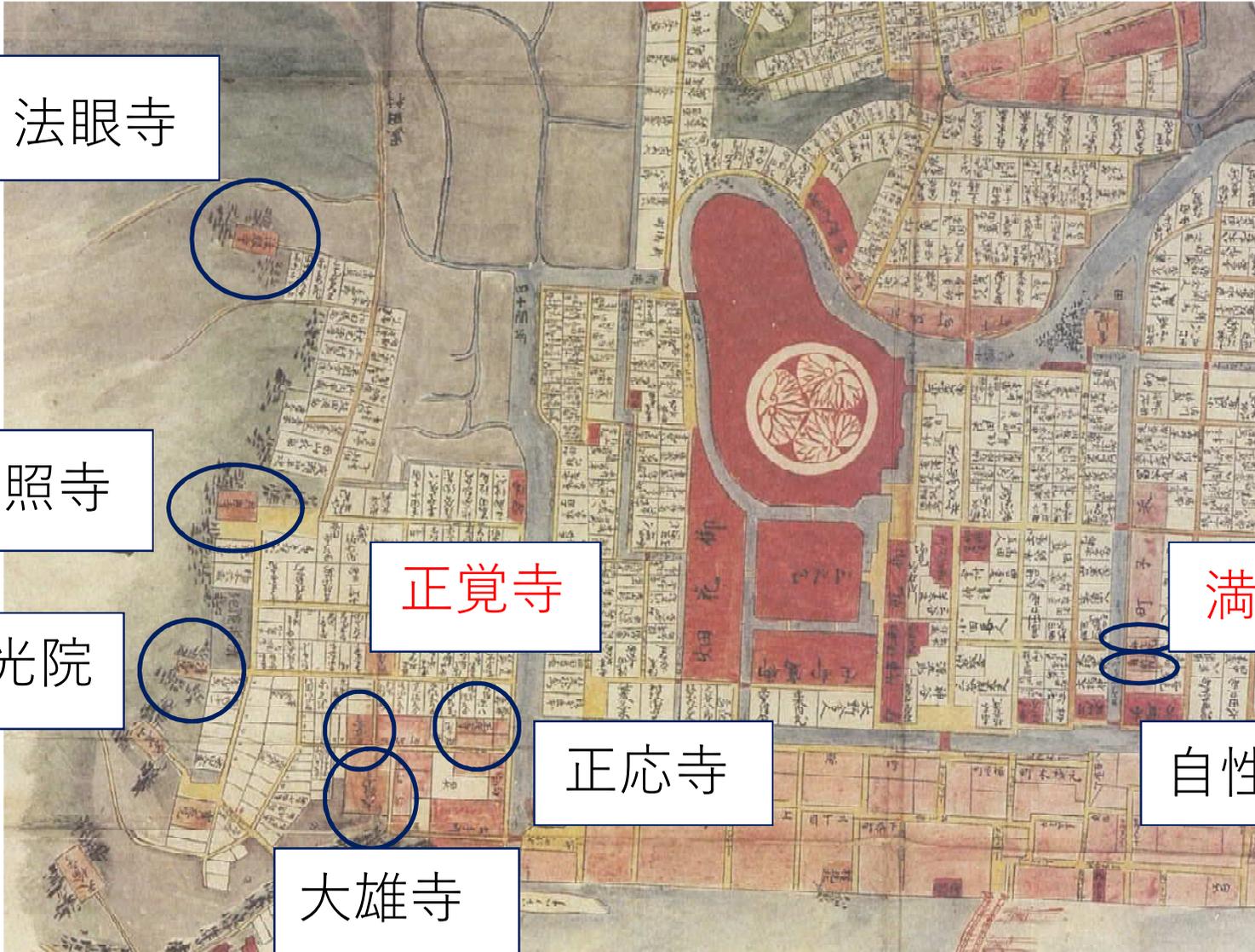
正覚寺

正応寺

大雄寺

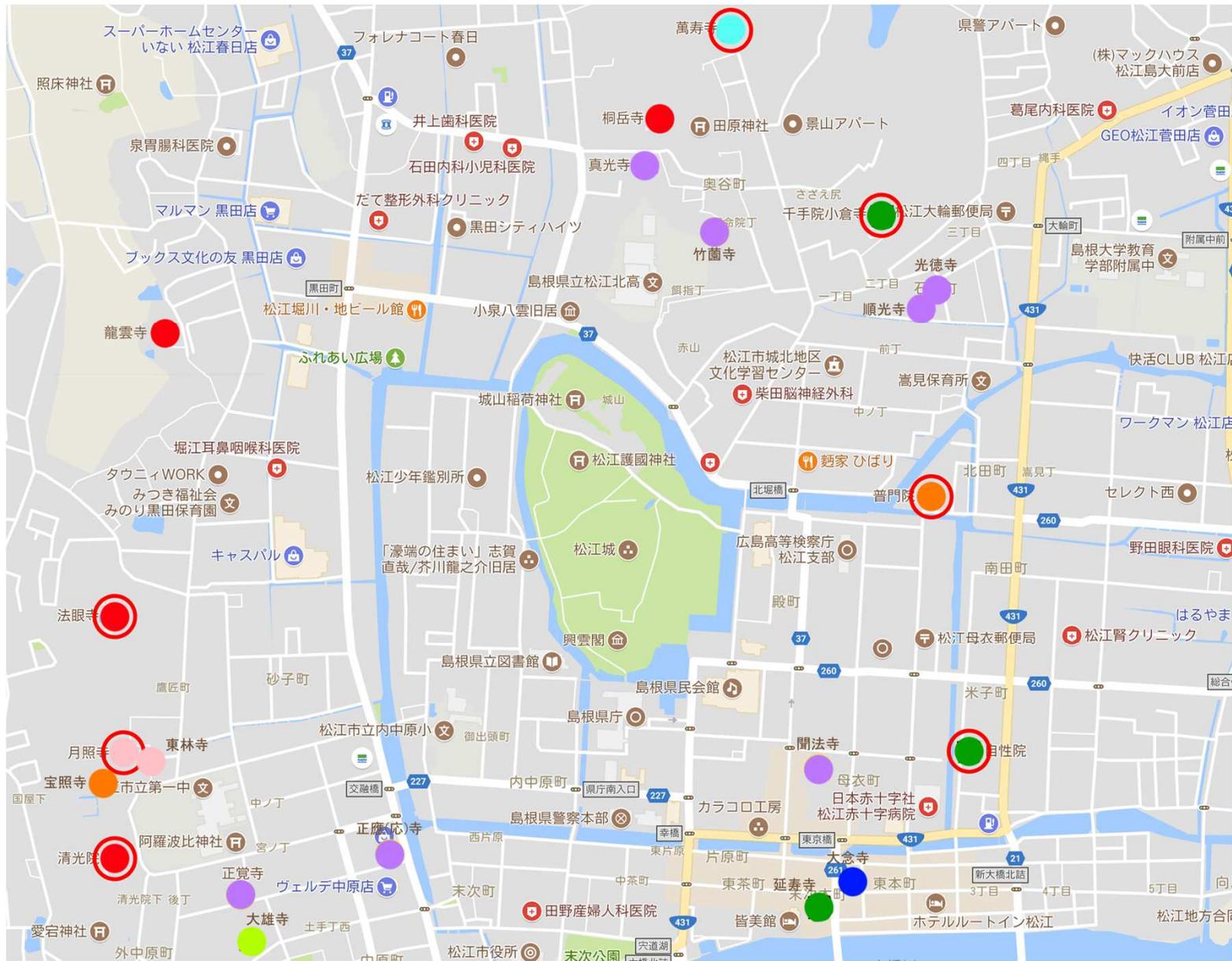
満性院

自性院



現在

- 萬寿寺
- 桐岳寺
- 真光寺
- 竹園寺
- 千手院
- 光徳寺
- 順光寺
- 普門院
- 自性院
- 大念寺
- 正応寺
- 大雄寺
- 正覚寺
- 清光院
- 月照寺
- 東林寺
- 法眼寺
- 龍雲寺
- 聞法寺…檀家がいなくなり廃寺
- 延寿寺
- 宝照寺



聞法寺



城下町松江(橋北)の寺院 まとめ①

- 松江城築城とともに **広瀬町から移転**してきたものがほとんど
- かつて藩の帰依を受けていた 寺院の多くは、**檀家の減少**とともに存続が厳しくなっている
- 橋北の寺院には **鬼門封じ**や**城東守護**など、松江城守護の寺院がある



普門院にて

城下町松江(橋北)の寺院 まとめ②

- ・橋北の寺院は、松江藩主、家老など**武家と関係のある**寺院が多くみられた
- ・城下町松江では鬼門の信仰が**現代にも生き続けている**
- ・城下町松江は戦災にあっていないことから昔からの寺院の景観が比較的残っている
→城下町松江における寺院の**景観を松江の観光に活かす**必要があると考える。



普門院にて

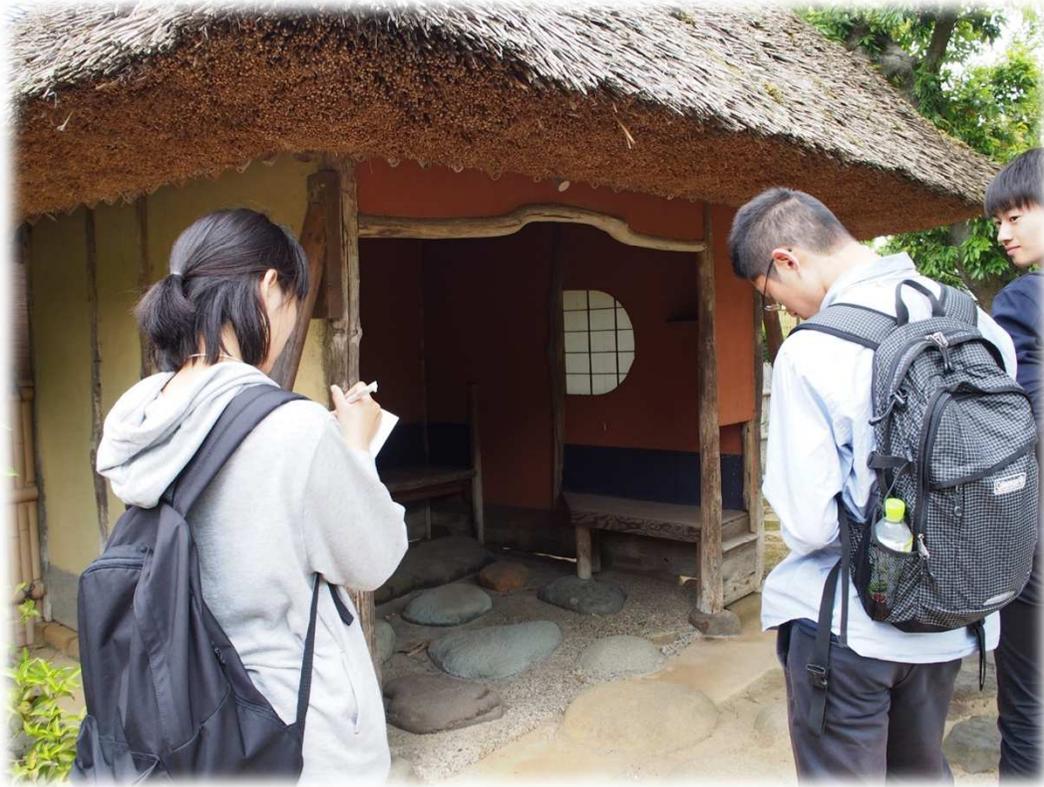
フィールドワークにご協力していただいた方々

- ・普門院 谷村常順さん
- ・自性院 金田崇範さん
- ・清光院 廣江尚道さん
- ・千手院 大北哲也さん
- ・法眼寺 伊東充伸さん

参考文献

- ・上野富太郎、野津静一郎 編 『松江市誌』、松江市庁、1941年
- ・玉木勲 編 『松江藩を支えた代々家老六家』、ハーベスト出版、2011年
- ・玉木勲 編 『朝日家老来歴』、玉木勲、2011年
- ・黒澤長尚 編 『雲陽誌』、歴史図書社、1976年

普門院 観月庵にて



龍雲寺にて



ご清聴ありがとうございました！